



光る知性 豊かな心 強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和 8 年 10 月 29 日
校長 柿 崎 円

第 45 回創立記念式 式辞より

校 歌

扇 畑 忠 雄
海 鋒 義 美
作 曲 作 詞

一、遠く見はらす 青い山
そびえる飯豊 仰ぎつつ
春秋の 命さやかに
永遠の 夢を育てて
健やかに 理想をめざす
長井南中学校

二、国をつらぬく 最上川
ゆたかな流れ 光る風
積極の 歩みたしかに
創造の 道踏みしめて
限りなく 未来に進む
長井南中学校

三、白いつつじの 匂う花
置賜の里 美しく
友情の 瞳明るく
勤勞の 心合わせて
ひたすらに 知識を学ぶ
長井南中学校

長井南中学校は昭和57年長井市内5つの中学校が分離統合し南北中2校が同時に開校しました。その後、本校の卒業生も7,942名にのぼり長井市内外で活躍しています。今日は校歌にスポットをあて、学校の原点に立ち返り、今を見つめてみます。

南中の校歌は、日本の短歌界で多大な足跡を残した扇畑忠雄先生と、東北地方の多くの学校の校歌を作曲した海鋒義美先生によって作られました。開校した年の竣工式で初披露となり、式では扇畑先生の記念講演が行われました。一部を紹介します。

一番の「遠く見はらす 青い山/そびえる飯豊 仰ぎつつ」。山形県には蔵王をはじめ、どこから見ても青い山々がそびえています。その中でもひとときわ飯豊の山がそびえている。その飯豊を仰ぎながらみなさんが勉強している様子を歌うようにしました。二番は「国をつらぬく 最上川/ 豊かな流れ光る風」。西吾妻を源流として山形県を横断し、日本海へと続く、天下にも珍しい最上川。五月の田を渡るさわやかな風、豊かに流れる最上川を歌いました。三番に白つつじ。白つつじは清楚で清らかなものです。オキタマはオイタマとも言いますが、私はこのオキタマが好きなのです。オキタマという言葉だけで、山・川・民族・人情が目に浮かびます。

飯豊の山、最上川、置賜の里の白つつじを最初に歌い、それから勉強する目標、日常生活における心のよりどころを歌いました。

「春秋の命さやかに…」。春秋は年月のことです。豊かな未来、永遠の夢を育てて、健やかに理想をめざす姿を詠みました。二番目は「積極の歩み確かに…」。進んで行動する積極性が創造の道につながっています。想像力を将来に向かって伸ばしてほしいと思います。三番「友情の瞳明るく…」。まず友情がなければならぬ。同時に勤勞の心。立派な人になるために心を合わせて働くことが大切です。「ひたすらに知識を学ぶ」。これは学校ですから当然です。今こそしっかり学んでいただきたい。

このような思いで校歌をつくりました。これからの日常で大いに歌ってほしいと思います。

校長室の前に「南中校歌の好きなところは？好きなフレーズは？」とポストを用意しました。 南中学生の声です。

- ・「創造の道踏みしめて」というフレーズが私たちの歩みをみんなで歩いていこうという感じで最高の曲だと思います。
- ・「限りなく未来に進む」のところが中学生の間だけでなく未来に向かっていくという感じがして好きです。
- ・「友情の瞳明るく」がみんなでがんばろうみたいなフレーズでLOVE。
- ・「長井南中学校」この言葉が出てくたびに南中を誇らしく思います。

あの日の教室の光、友達と交わした言葉、この場所でしか見られない景色…。同じ時間を共に駆け抜けた約 8000 人の先輩たちと私たちにしか歌えない歌が校歌です。あなた自身の物語をメロディに重ね、精一杯響かせてください。みなさんに携わってくださる多くの方に感謝し、築いてきた伝統を未来の南中生へつなぎ、全校生が成長することを期待しています。

卒業生に学ぶ



「nail atelier flare」経営 梅津莉央さん
(JNA 認定講師 ジェルフレンチFree【IN BOX】世界チャンピオン)

創立記念式の後、本校卒業生の梅津莉央さんより全校生に向けてお話をいただきました。ご自身の経験から、あきらめない心、小さな「やってみよう！」を続ける大切さを教えていただきました。

(前略)

最初から「ネイリストになりたい」という夢ではなく「絵を描く事が好き」そんな気持ちの先にネイルという世界がありました。高校卒業後ネイルスクールに入学し、ネイリストになるための勉強を始めました。練習をして検定試験にも挑戦しました。(2 回不合格) もし一生懸命頑張った事に2回目失敗したらみなさんはどうしますか？2回目落ちた時、もうあきらめようかなと思いました。あきらめた方が楽だと思ったんです。もう練習しなくてもいいし、失敗して落ち込まなくてもいい。そう思いました。あきらめよう!と決めた時に涙が出たんです。そこで「あれ？私本当はあきらめたいんじゃない」「あきらめたくないんだ」って…だから私はもう一度、挑戦することにしました。結果としてその経験があったからこそ今の自分があります。

様々なコンテストで優勝や入賞をしたこともありますが、それよりも誇りに思っているのは、うまくいかなかった時あきらめなかったことです。成功したことより、立ち上がり続けた事が今の私を作ってくれたと思っています。反発することもあった。迷うこともあった。何度失敗することもあった。あきらめそうにもなった。だから皆さんにも伝えたいことがあります。今 将来の夢が決まなくて大丈夫です。一度失敗したからといって、それが「向いてない」という答えになるわけではありません。そして何回も失敗したからといってそこで人生が決まるわけでもありません。私は検定に2回落ちました。ですが今は教える側になっています。だからこれから何かに挑戦して「もう無理かもしれない」と思う日が来たら一度だけ自分に聞いてみてください。「私は本当にあきらめたいのかな？」もしかしたら、あきらめたいのではなく「今はちょっとつかれただけ」かもしれません。もし心のどこかに「本当はまだやりたい」という気持ちがあるならその小さな気持ちを大切にしてほしいです。

私の人生を変えたのは、特別な才能でも、最初から決まっていた夢でもありません。「もう少しやってみよう!」という小さな選択を何度も繰り返したことでした。そして今、私は自分の卒業したこの場所に立っています。中学生だった頃の私には想像できなかった場所です。もしあの時、涙を流してまで「あきらめたくない」と思った自分の気持ちを無視していたら、今の私はここにいません。だから私はあの日の自分にこう言いたいです。「あきらめなくて良かったね。」って。そして皆さんもいつか「あの時、あきらめなくて良かった。」と思えるものが見つかる事を願っています。

